

事務事業実績測定調査

事務事業名称	給水装置審査確認業務										
測定年度	2020(R2)年度			部	上下水道部			課	上水道管理課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち									
	施策目標	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事业	区分	非選択的事務事業
事業期間	不明		年度	~	年度まで
根拠法令等	水道法及び同施行令、施行規則並びに枚方市水道事業給水条例及び同施行規程				
関係補助金名称				サンセット	~
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	配水管より分岐して、給水を受ける市民・事業者など			
	サブターゲット	上記の配水管より分岐して、給水を受ける市民・事業者などの依頼を受ける指定店(枚方市指定給水装置工事事業者)			
	ターゲットが抱える課題	サブターゲットである指定店の技術力により仕上がりや工期に差が出る。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	給水を受ける市民・事業者などが安心して枚方市指定給水装置工事事業者に任せられる状態。(窓口等により業者指導を行う)				
事業概要	枚方市水道事業の給水について、給水装置工事及び給水条件に適した給水装置の適性を保持し安心して使用できるように給水装置の審査確認を行う。 1)配水管より分岐して設ける給水装置が構造材質基準及び基準省令に適合し、適切に設計されているか審査する。 2)審査後、設計通り適正に施工されたか検査する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル						給水装置工事及び給水条件に適した給水装置の適性を保持し安心して使用できる。				配水管より分岐して設ける給水装置が構造材質基準及び基準省令に適合し、適切に設計されているか審査を行う。			
指標設定	指標説明					給水装置検査達成率 【算出式:検査件数÷給水装置竣工検査依頼件数×100】				給水装置竣工検査依頼件数			
	指標種類	単位				単位 %				単位 件			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					100	100	100	100	3,500	3,500	3,500	3,500
	実績					100				3,500			
	達成度					100%				100%			
	分析					申請に基づき、検査が完了しました。				想定通りでした。			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	7.80
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	58,648	59,391	56,949		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	58,648	59,391	56,949		
	物件費計	5	147	159	3,219	5%	
	歳出計	58,653	59,538	57,108			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	237,184	199,081		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	188,450	0	0		
	歳入計	0	188,450	237,184	199,081		
一般財源		58,653	▲ 128,912	▲ 237,025	▲ 195,862		

5. 総括的分析

総括的分析	各指定給水装置工事事業者に対し、本市における給水装置工事に伴う施工基準を示すことで、市民に対し給水に係る公平性・安全性を確保するとともに、適正に効率的な指導を行うことができた。			
	竣工検査依頼件数	新設・・・1,619件	改造・・・2,069件	合計3,688件
	検査件数	新設・・・1,619件	改造・・・2,069件	合計3,688件

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引続き、指定給水装置工事事業者からの給水装置工事の申込において、水道法等の関係法規における基準に適合させるように審査・検査を行う。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	水道管路等管理事務													
測定年度	2020 (R2) 年度				部	上下水道部				課	上水道管理課			
市長公約との関係	所信表明			市政運営方針	R2	R3			R4					
総合計画体系	基本目標				5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち									
	施策目標				26.安全で良好な生活環境が確保されたまち									
	実行計画名													

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務								
事業期間	不明				年度	～							
根拠法令等	決裁												
関係補助金名称									サンセット				
関係附属機関名称													
事業対象	メインターゲット	安全でおいしい水の供給を安定的に受ける水道使用者											
	サブターゲット	水道施設埋設管等の情報を必要とする市民・事業者・市内部組織											
	ターゲットが抱える課題	水道管路の情報について、適正かつリアルタイムな情報を提供する必要がある。											
	ターゲットが抱える課題	水道管路用地の有効な資産活用を行い、適切な管理を行う必要がある。											
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	水道管路等の財産が適切に管理され、給水が円滑に行われている状態。												
事業概要	<p>安全・安心・安定した水を供給する為、[水道管路用地の管理][水道配管図の管理][道路・河川等占用継続申請][水道管路借地]の各事務事業を行う。</p> <p>1) 水道管路用地の適切な管理を行う。</p> <p>2) 市内全域の導・送・配・給水管情報を水道施設情報管理システムで管理し、工事等による経年変化を修正する。</p> <p>3) 許可期間満了の占用物件を各管理者(道路管理者等)に継続申請する。</p> <p>4) 水道管が埋設されている民有地等において土地所有者に対して借地料を支払い、借地の継続手続きを行う。</p>												

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		水道管路等の財産が適切に管理される。				水道管路等の財産が適切に管理される。				許可期間満了の占用物件を各管理者(道路管理者等)に継続申請する。			
指標設定		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
指標設定	指標説明					水道管占用等継続申請達成率 【算出式: 占用申請処理済件数 ÷ 新規占用申請件数 × 100】				占用申請処理済件数			
	指標種類	単位				単位				単位			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)					100	100	100	100	550	550	550	550
	実績					100				550			
	達成度					100%				100%			
分析					想定外の申請がありました。				想定通りでした。				
ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		水道施設情報管理システムが適正に整備されている。				水道施設情報管理システムが適正に整備されている。				市内全域の導・送・配・給水管情報を水道施設情報管理システムで管理し、工事等による経年変化を修正する。			
指標設定②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
指標設定②	指標説明					経年変化修正(距離)のデータ更新率				当該年度 経年変化修正のデータ更新(距離)			
	指標種類	単位				単位				単位			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)					100	100	100	100	18	18	18	18
	実績					100				18			
	達成度					100%				100%			
分析					想定通りでした				想定通りでした。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	3.85
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	1.62
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	32,296	27,323	27,921		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	4,414	4,628	5,421		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	36,710	31,951	33,342		
	物件費計	2,760	4,307	11,865	18,498	64%	
	歳出計	39,470	36,258	45,207			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	2,278	33,678	1,157	1,113		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	27,100	21,669		
	歳入計	2,278	33,678	28,257	22,782		
一般財源		37,192	2,580	▲ 16,392	▲ 4,284		

5. 総括的分析

水道配管図 導水管・送水管・配水管修正延長約18km
 占用継続申請数 53件
 有償賃借地件数 29件
 休止施設の売却も行いました。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
----	------

今後の取組方針 令和2年4月より、上下水道施設情報管理システムが本稼働したことにより、改正水道法の適用期間の令和4年9月までに、水道施設台帳を整備していきます。また、休止施設や残地について、有効活用できるよう貸付けをできる土地は、積極的に貸付けを行えるよう検討していきます。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	上水道管理課運営事務												
測定年度	2020(R2)年度			部	上下水道部				課	上水道管理課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4					
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外										
	施策目標		99.施策体系外										
	実行計画名												

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務		区分	庶務的内部管理事務						
事業期間	不明		年度	~	年度まで							
根拠法令等	決裁											
関係補助金名称							サンセット	~				
関係附属機関名称												
事業対象	メインターゲット		職員及び連携を図る他部局									
	サブターゲット		自治事務を信託している市民									
	ターゲットが抱える課題		組織間の連携や課の運営を円滑に図る必要がある。									
	ターゲットが抱える課題											
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	他部署とより良好で柔軟に対応できる相互関係となり、組織の機能を適正かつ効率的に発揮できる状態											
事業概要	課の運営業務											

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
指標設定	指標説明												
	指標種類	単位				単位				単位			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)											
	実績												
	達成度												
分析													

3. 人員体制 (人)

	R2
正職員(再任用)	2.75
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	23,209	22,954	19,458		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	23,209	22,954	19,458		
	物件費計	15,540	13,312	3,644	4,159	88%	
歳出計		38,749	36,266	23,102			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	35,622	0	0		
	歳入計	0	35,622	0	0		
一般財源		38,749	644	3,644	4,159		

5. 総括的分析

総括的分析	所管事務に係る他部局との連絡調整、各種庶務事務の執行や公用車の維持管理を行いました。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、円滑な事務の執行に努めていく。